

第 2 章 廃棄物処理の現状

1 ごみ・資源の処理体制とフロー

(1) ごみ・資源の分類と処理体制

ごみ・資源の分類と処理体制は次のとおりです。なお、本計画では、「燃やせるごみ」を「可燃ごみ」、「燃やせないごみ」を「不燃ごみ」、「容器包装プラスチック」を「容プラ」と統一して表記しています。

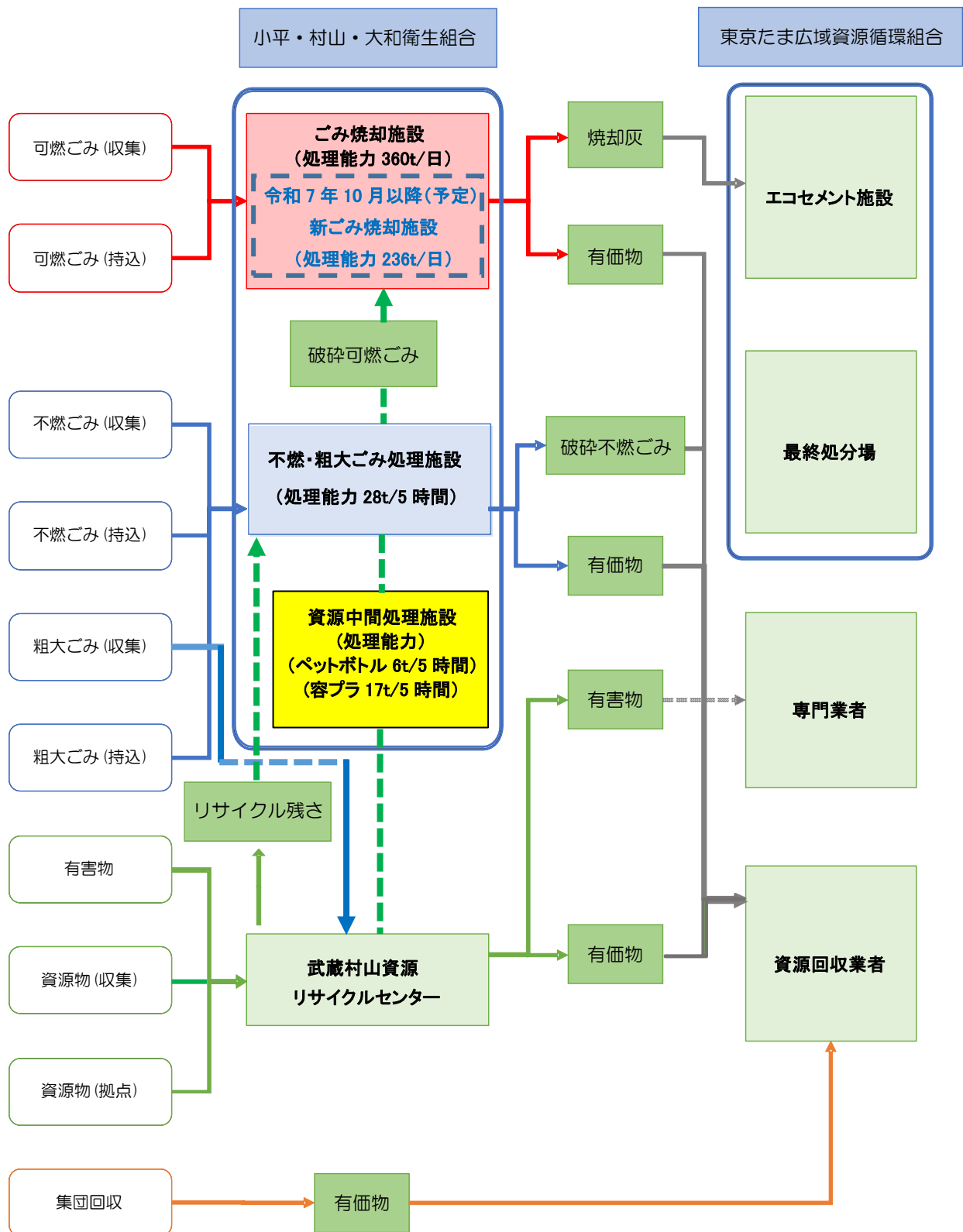
表 2-1 ごみ・資源の分類と処理体制

区分	収集運搬		中間処理	最終処分
	回数	収集方式		
可燃ごみ	週 2 回	戸別集積所	小平・村山・大和衛生組合	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
不燃ごみ	月 1 回	戸別集積所	小平・村山・大和衛生組合	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場
缶・金属・びん・有害物・ライター	隔週 1 回	戸別集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間事業者において資源化処理
容プラ	週 1 回	戸別集積所	小平・村山・大和衛生組合	民間事業者において資源化処理
ペットボトル	隔週 1 回	戸別集積所	小平・村山・大和衛生組合	民間事業者において資源化処理
古紙（新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック）・布・剪定枝・ぬいぐるみ	月 3～4 回	戸別集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間事業者において資源化処理
かばん・ベルト	月 3～4 回	戸別集積所	武蔵村山資源リサイクルセンター	民間事業者において資源化処理
粗大ごみ	随時	戸別集積所	小平・村山・大和衛生組合 武蔵村山資源リサイクルセンター	東京たま広域資源循環組合・日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場

(2) ごみ・資源の処理フロー

ごみ・資源の処理フローは次のとおりです。

図 2-1 ごみ・資源の処理フロー



2 ごみ・資源の量

(1) 総排出量の推移

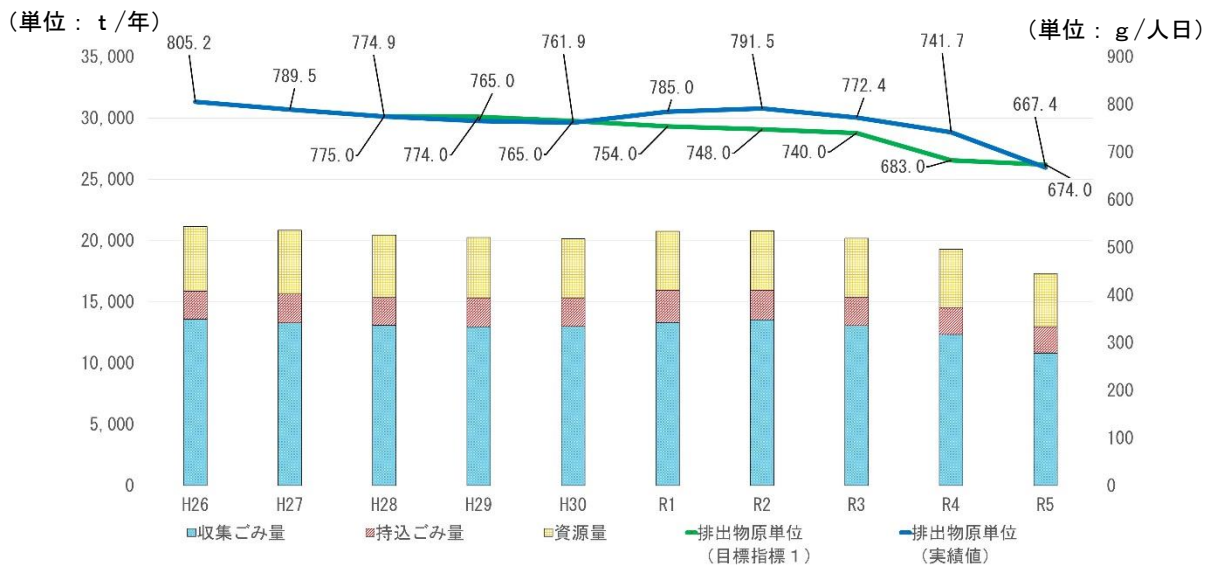
総排出量とは、収集ごみ量、持込ごみ量、資源量の合計値です。

総排出量は、平成26年度から平成30年度までは減少傾向にあり、その後、令和元年度と令和2年度は増加しましたが、令和3年度からは再び減少傾向にあります。

市民1人1日当たりの総排出量の推移についても、総排出量と同様の傾向を示しています。なお、令和4年10月の家庭ごみ有料化・戸別収集の開始に伴い、令和5年度の総排出量と市民1人1日当たりの総排出量は、それぞれ17,308tと667.4g/人日となっており、これまでと比較して大きく減少しています。

令和5年度の市民1人1日当たりの総排出量は、改訂前の武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画（平成30年1月策定）（以下「前計画」という。）に定める目標指標を達成しています。

図2-2 総排出量及び市民1人1日当たりの総排出量の推移



総排出量の推移

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計	21,155	20,852	20,443	20,246	20,143	20,765	20,801	20,191	19,286	17,308
資源量	5,283	5,219	5,089	4,922	4,824	4,805	4,840	4,798	4,731	4,332
持込ごみ量	2,286	2,343	2,273	2,344	2,319	2,641	2,421	2,322	2,203	2,149
収集ごみ量	13,586	13,290	13,081	12,980	13,000	13,319	13,540	13,071	12,352	10,827

市民1人1日当たりの総排出量の推移

(単位：g/人日)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
排出物原単位 (目標指標1)			775.0	774.0	765.0	754.0	748.0	740.0	683.0	674.0
排出物原単位 (実績値)	805.2	789.5	774.9	765.0	761.9	785.0	791.5	772.4	741.7	667.4

※ 目標指標1は前計画で定める目標指標です。

(2) ごみ量の推移

ア 収集ごみ量の推移

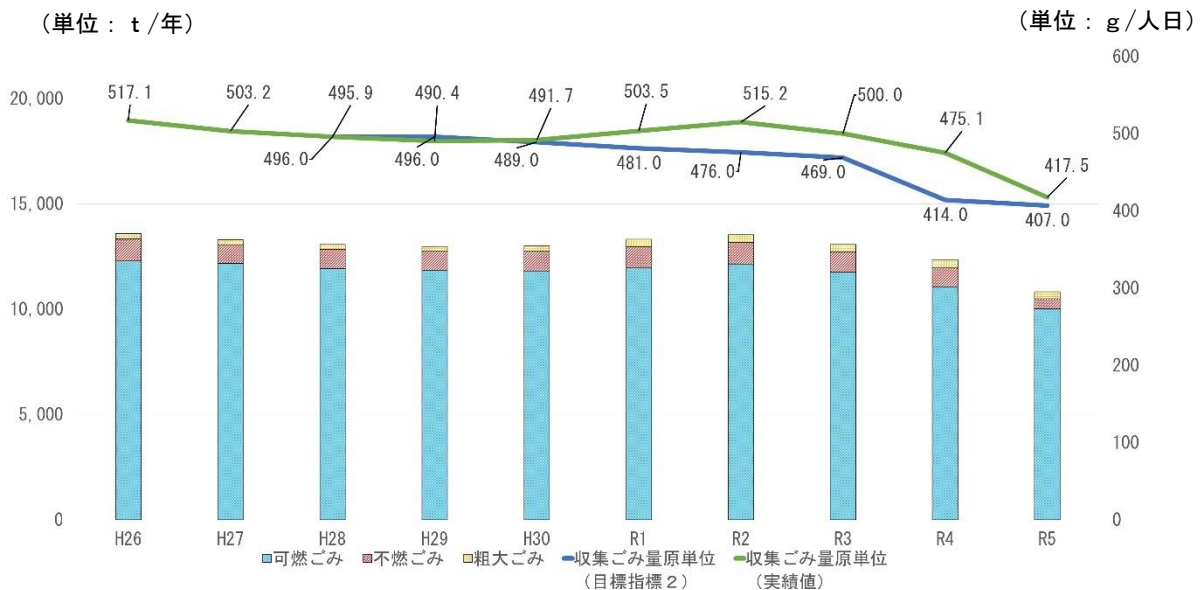
収集ごみ量は、平成26年度から平成29年度までは減少傾向にあり、その後、平成30年度から令和2年度までは増加しましたが、令和3年度からは再び減少傾向にあります。

市民1人1日当たりの収集ごみ量の推移についても、収集ごみ量と同様の傾向を示しています。

なお、令和4年10月の家庭ごみ有料化・戸別収集の開始に伴い、令和5年度の収集ごみ量と市民1人1日当たりの収集ごみ量は、それぞれ10,827tと417.5g/人日となっており、これまでと比較して大きく減少しています。

しかしながら、令和5年度の市民1人1日当たりの収集ごみ量は、前計画に定める目標指標の達成には至っておりません。

図2-3 収集ごみ量及び市民1人1日当たりの収集ごみ量の推移



収集ごみ量の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計	13,586	13,290	13,081	12,980	13,000	13,319	13,540	13,071	12,352	10,827
粗大ごみ	248	220	239	233	258	346	365	368	388	326
不燃ごみ	1,045	899	904	890	922	1,011	1,027	933	895	482
可燃ごみ	12,293	12,171	11,938	11,857	11,820	11,962	12,148	11,770	11,069	10,019

市民1人1日当たりの収集ごみ量の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収集ごみ量原単位 (目標指標2)			496.0	496.0	489.0	481.0	476.0	469.0	414.0	407.0
収集ごみ量原単位 (実績値)	517.1	503.2	495.9	490.4	491.7	503.5	515.2	500.0	475.1	417.5

※ 目標指標2は前計画で定める目標指標です。

イ 持込ごみ量の推移

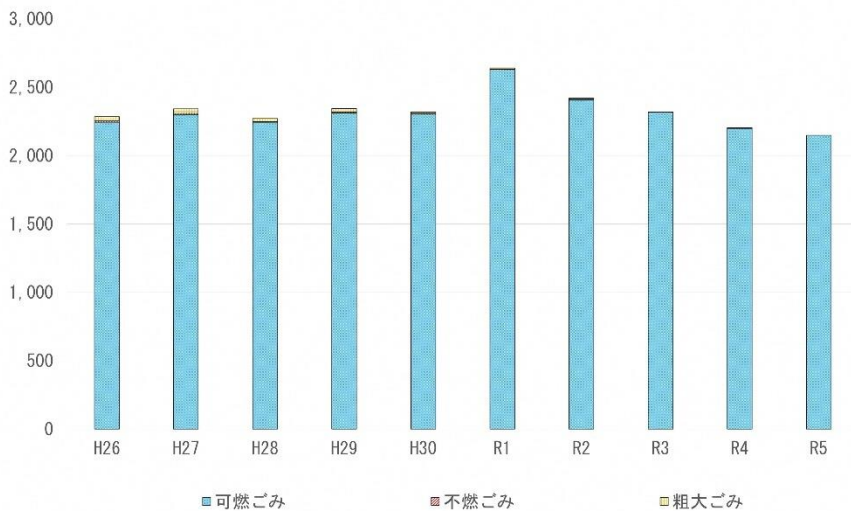
持込ごみとは、小平・村山・大和衛生組合に直接持ち込まれる廃棄物のことで、主なものは事業系一般廃棄物となりますが、粗大ごみも持ち込まれます。

持込ごみ量は緩やかに増減を繰り返していましたが、令和元年度をピークにそれ以降は減少傾向にあります。

なお、令和3年度以降の粗大ごみと不燃ごみの持込ごみ量が少ないのは、小平・村山・大和衛生組合の新ごみ焼却施設整備事業に伴い、令和3年4月から粗大ごみや臨時的に発生する事業系一般廃棄物の持込みを中止していることや、令和3年7月から事業系一般廃棄物の持込手数料を1kg当たり25円から38円に改定したことが主な要因と考えられます。

図2-4 持込ごみ量の推移

(単位：t/年)



持込ごみ量の推移

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計	2,286	2,343	2,273	2,344	2,319	2,641	2,421	2,322	2,203	2,149
粗大ごみ	29	34	24	22	10	7	8	2	3	0
不燃ごみ	12	8	5	9	3	4	4	1	1	0
可燃ごみ	2,245	2,301	2,244	2,313	2,306	2,630	2,409	2,319	2,199	2,149

(3) 資源回収量の推移

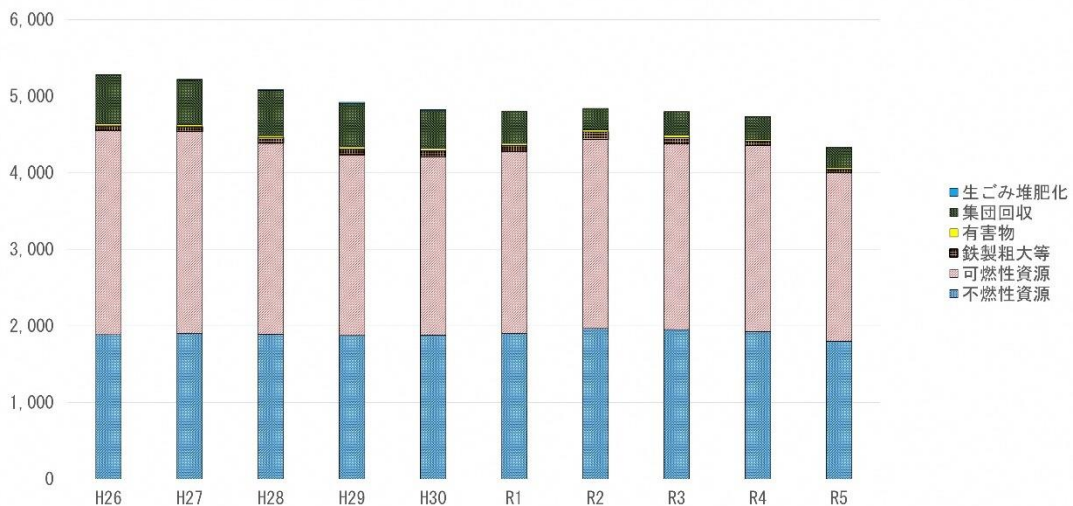
資源回収量とは、集積所から資源として収集した量に、集団回収量と粗大ごみ収集時に分別している鉄製粗大等を加えたものです。

資源回収量は、平成26年度から令和元年度までは減少傾向にあり、その後、令和2年度は増加しましたが、令和3年度からは再び減少傾向にあります。

資源物については紙類の回収量が特に減少しており、スマートフォン等の電子媒体の普及を背景に新聞・雑誌離れの傾向にあることが減少の要因と考えられます。また、自転車等の鉄製粗大も減少しており、リサイクルショップや本市が協定しているジモティーを活用したリユースを行う方が増えていることが要因の一つではないかと考えられます。

図2-5 資源回収量の推移

(単位：t/年)



資源回収量の推移

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計	5,283	5,219	5,089	4,922	4,824	4,805	4,840	4,798	4,731	4,332
生ごみ堆肥化	5	10	15	18	16	-	-	-	-	-
集団回収	638	579	590	565	492	420	278	309	294	265
有害物	27	28	27	25	27	25	28	27	27	22
鉄製粗大等	64	64	71	77	82	86	99	85	51	46
可燃性資源※1	2,663	2,639	2,496	2,361	2,326	2,373	2,470	2,426	2,435	2,199
不燃性資源※2	1,886	1,899	1,890	1,876	1,881	1,901	1,965	1,951	1,924	1,800

※1 可燃性資源：紙類・布類・剪定枝など

※2 不燃性資源：鉄類・アルミ・ビン類・容プラ・ペットボトルなど

(注) 生ごみ堆肥化については、平成26年度からモデル事業を実施し、平成30年度に検証をした結果、事業を廃止しました。

平成30年6月からは生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」の実証実験を開始し、令和4年度に検証を行い、現在は、市ホームページで「ミニ・キエーロ」の作り方を公開、及び生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」工作教室を実施し、生ごみ減量の啓発を行っています。

3 資源化状況

(1) 資源化量の推移

資源化量とは、集積所や回収拠点で資源として収集したもののから異物(資源化できないもの)を除いて実際に資源化した量や、粗大ごみとして収集したもののから資源化した鉄類など、実際に資源化した量に、中間処理施設で資源化した量及び集団回収量を加えたものです。

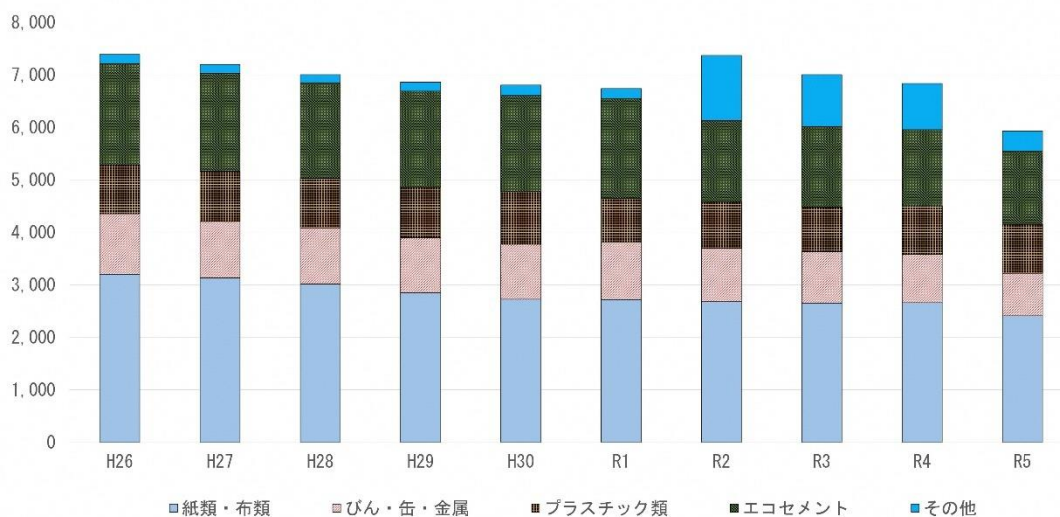
資源化量は、平成26年度から令和元年度までは減少傾向にあり、その後、令和2年度は増加しましたが、令和3年度からは再び減少傾向にあります。

令和2年度の資源化量が大きく増加した理由は令和2年4月から小平・村山・大和衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設が稼働したことに伴い、路盤材等にリサイクルされる不燃残渣の量が増加したことによるものです。

また、令和5年度の資源化量が著しく減少している理由は、令和4年10月からの家庭ごみ有料化に伴い、可燃ごみが減少し、エコセメントの材料となる焼却灰が減少したこと、不燃ごみが減少したことにより不燃残渣が減少したことが主な理由です。

図2-6 資源化量の推移

(単位：t/年)



資源化量の推移

(単位：t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計	7,390	7,196	7,003	6,860	6,806	6,740	7,372	7,005	6,835	5,931
その他	176	168	151	173	201	189	1,244	988	877	386
エコセメント	1,928	1,862	1,824	1,818	1,827	1,910	1,549	1,534	1,454	1,391
プラスチック類※1	932	958	944	975	1,007	834	882	854	924	934
びん・缶・金属	1,149	1,074	1,071	1,046	1,047	1,087	1,017	977	919	810
紙類・布類	3,205	3,134	3,013	2,848	2,724	2,720	2,680	2,652	2,661	2,410

※ プラスチック類：容プラ・ペットボトル

(2) リサイクル率(資源化率)の推移

リサイクル率(資源化率)とは、資源化量を総排出量で除したものです。

エコセメントを含むリサイクル率は、平成26年度から令和元年度までは減少傾向にあり、その後、令和2年度に増加しましたが、令和3年度からは横ばい傾向にあります。

エコセメントを除くリサイクル率についても、エコセメントを含むリサイクル率と同様の傾向を示しています。

なお、令和4年10月からの家庭ごみ有料化及び戸別収集事業の開始により、ごみの総排出量は減少しているところですが、資源物の量についても紙類などが減少しているところであり、資源化率としては横ばいの状況が続いています。

図2-7 リサイクル率(資源化率)の推移 (エコセメント含む)

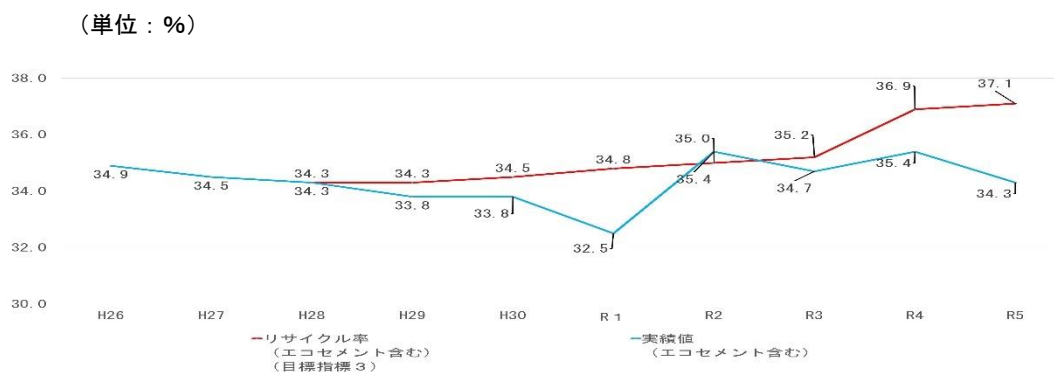
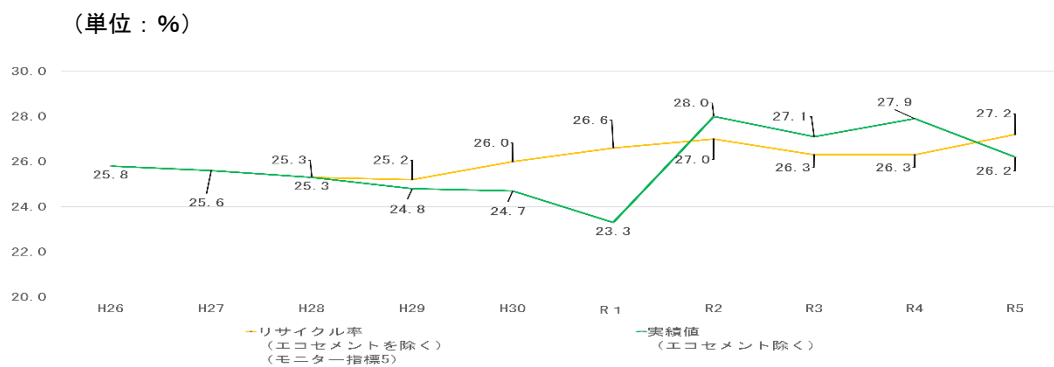


図2-8 リサイクル率(資源化率)の推移 (エコセメント除く)



リサイクル率(資源化率)の推移

(単位: %)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
リサイクル率 (エコセメント含む) (目標指標3)			34.3	34.3	34.5	34.8	35.0	35.2	36.9	37.1
実績値 (エコセメント含む)	34.9	34.5	34.3	33.8	33.8	32.5	35.4	34.7	35.4	34.3
リサイクル率 (エコセメントを除く) (モニター指標5)			25.3	25.2	26.0	26.6	27.0	26.3	26.3	27.2
実績値 (エコセメント除く)	25.8	25.6	25.3	24.8	24.7	23.3	28.0	27.1	27.9	26.2

※ 目標指標3は前計画で定める目標指標です。

※ モニター指標5は前計画で定めるモニター指標です。

写真2-1 リサちゃん イクルくん



4 中間処理

(1) 小平・村山・大和衛生組合

本市の可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの中間処理は、小平市・東大和市を含め3市で構成する小平・村山・大和衛生組合において共同で行われています。

可燃ごみは、焼却処理施設で焼却され、不燃ごみ及び粗大ごみは、不燃・粗大ごみ処理施設で選別・破砕処理されています。

しかしながら、ごみ処理施設は老朽化が進んでいるため、現在、小平・村山・大和衛生組合では3市共同で施設の整備を進めています。

「資源物中間処理施設（愛称：エコプラザ スリーハーモニー）」については、平成31年4月から稼働し、容プラ及びペットボトルを受け入れ、各工程を経て圧縮梱包し、リサイクル業者に引き渡しをしています。

「不燃・粗大ごみ処理施設」については、令和2年4月から稼働し、家庭などから出る不燃ごみ及び粗大ごみの受け入れ、処理を行っています。

また、「(仮称)新ごみ焼却施設」については、令和7年度の稼働を目指し、現在、工事を進めている状況です。

新たに建設する新ごみ焼却施設は、施設の周辺地域や環境に配慮するため、従来の処理能力（360 t/日）よりもコンパクトな規模（236 t/日）を予定しています。

そのため、施設規模に合わせたごみの減量などが課題となっています。

なお、ごみ焼却施設の整備期間中は、組合におけるごみの処理能力が低下することから、「多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定」に基づき、令和3年度以降、小平・村山・大和衛生組合と西多摩衛生組合との間で「可燃ごみ焼却処理等委託契約」を締結し、西多摩衛生組合において可燃ごみの一部の受け入れ及び処理を行っています。

写真2-2 小平・村山・大和衛生組合



表 2-2 小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設の概要

区 分	内 容
施 設 名 称	小平・村山・大和衛生組合ごみ焼却施設（4・5号炉）
所 在 地	小平市中島町2番1号
建 設 年 月 日	4・5号炉：昭和61年11月（竣工）
炉 型 式	全連続燃焼方式
処 理 方 法	ストーカ式
処 理 能 力	4・5号炉（105t／日×2炉）
余 熱 利 用	足湯施設（こもれびの足湯施設、平成19年3月竣工）
冷 却 方 式	水噴射
通 風 方 式	強制（平衡）
除 塵 方 式	バグフィルタ
煙 突 高	4・5号炉（地上高100m）

表 2-3 小平・村山・大和衛生組合資源中間処理施設の概要

区 分	内 容
施 設 名 称	小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設 （愛称：エコプラザ スリーハーモニー）
所 在 地	東大和市桜が丘2丁目122番地の2
建 設 年 月 日	平成31年4月（竣工）
施 設 の 種 類	容器包装リサイクル推進施設
処 理 能 力	容プラ：17t／5時間 ペットボトル：6t／5時間
処 理 対 象 物	容プラ及びペットボトル

表 2-4 小平・村山・大和衛生組合粗大ごみ処理施設の概要

区 分	内 容
施 設 名 称	小平・村山・大和衛生組合不燃・粗大ごみ処理施設（新）
所 在 地	小平市中島町2番1号
建 設 年 月 日	令和2年3月（竣工）
施 設 の 種 類	マテリアルリサイクル施設
破 碎 型 式	二軸せん断式破碎機、縦型高速回転破碎機
処 理 能 力	28t／5時間
処 理 対 象 物	不燃ごみ・粗大ごみ
選 別 内 容	不燃・粗大・鉄・アルミ

※ 選別内容については、機械により自動選別することが可能なものを掲載しました。

(2) 武蔵村山資源リサイクルセンター 写真 2-3

武蔵村山資源リサイクルセンター

昭和 53 年に民間によるリサイクルセンターを開設し、平成 3 年に移転・拡充し、平成 13 年には容プラ類の分別収集に対応するため、施設改修を行い現在に至っています。リサイクルセンターでは、収集されたライター・びん・有害物、缶・金属を受け入れ、施設で選別し、適正な処理を行っています。

なお、容プラ・ペットボトルについては、平成 31 年 4 月から稼働している小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設（愛称：エコプラザ スリーハーモニー）において処理しています。



表 2-5 武蔵村山資源リサイクルセンターの概要

区 分	内 容
施設名称	武蔵村山資源リサイクルセンター
所在地	武蔵村山市伊奈平二丁目 29 番地の 1
使用開始年月	平成 3 年 10 月
改修年月日	平成 13 年 11 月
設備内容及び 処理能力	選別設備（処理能力 20 t/日）
	破袋機（処理能力 28 t/日）
	磁選機（処理能力 4.97 t/日）
	アルミ選別機（処理能力 1.19 t/日）
	ペットボトル減容器（処理能力 2.1 t/日）

5 最終処分

(1) 東京たま広域資源循環組合

小平・村山・大和衛生組合の焼却灰は、多摩25市1町で構成している東京たま広域資源循環組合の二ツ塚廃棄物広域処分場(日の出町)に搬入しています。

搬入した焼却灰は、エコセメントの原料として全量再利用し、現在のところ埋め立て処理は行っていません。

また、破碎不燃物の搬入については、平成29年度まで埋め立て処理を行っていましたが、処分場の延命化及び周辺環境への影響を考慮し、平成30年度からは、民間処理施設において全量リサイクルを行っています。

東京たま広域資源循環組合におけるエコセメント事業については、エコセメント化施設運営委託が令和7年度末をもって終了することとなっていますが、今後の見通しとしては、令和8年度以降についても大規模修繕を行い、事業を継続する方向となっています。

表2-6 二ツ塚廃棄物広域処分場の概要

区 分	内 容
施設名称	二ツ塚廃棄物広域処分場
所在地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野字玉の内
施設規模	用地面積 約59.1ha
	開発面積 約33.3ha (埋立地18.4ha、管理施設等14.9ha)
	残存緑地面積 約25.8ha
埋立容量	全体埋立容量 約370万 ³ m
	廃棄物埋立容量 約250万 ³ m
	覆土容量 約120万 ³ m
建設年月	第1期 着工：平成7年度
	第2期 着工：平成12年度
埋立期間	当初 平成10年から16年間の予定
	エコセメント化後 30年以上延長予定

表2-7 エコセメント化施設の概要

区 分	内 容
施設名称	エコセメント化施設
所在地	東京都西多摩郡日の出町大字大久野7642番地 (日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場内)
建設年月	着工：平成15年2月 竣工：平成18年7月
処理能力	焼却灰等の処理能力 約300t (日平均)
生産能力	エコセメント生産量 約430t (日平均)
処理対象物	多摩地域25市1町のごみ焼却処理場施設から排出される焼却灰及び二ツ塚廃棄物広域処分場に分割埋立された焼却灰等

写真 2-4 ニツ塚廃棄物広域処分場



写真 2-5 エコセメント化施設

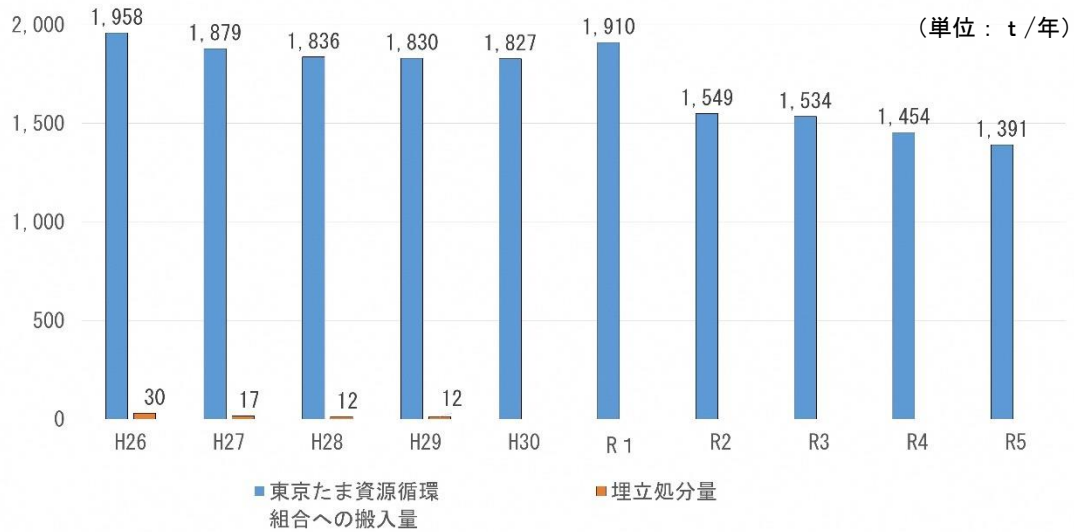


(2) 最終処分量の推移

東京たま広域資源循環組合への搬入量は、平成26年度の1,958tから令和5年度には1,391tと減少しています。

なお、埋め立て処分量が平成30年度から0tなのは、埋立対象となる破碎不燃物を民間施設で全量リサイクルしていることによります。

図 2-9 最終処分量の推移



最終処分量の推移

(単位: t/年)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
東京たま資源循環組合への搬入量	1,958	1,879	1,836	1,830	1,827	1,910	1,549	1,534	1,454	1,391
埋立処分量	30	17	12	12	0	0	0	0	0	0
内 焼却灰	1,928	1,862	1,824	1,818	1,827	1,910	1,549	1,534	1,454	1,391

6 廃棄物処理経費

廃棄物処理経費は、平成26年度以降増加傾向にあり、平成26年度の1億306万3千円から令和5年度には1億511万4千7百円に増加しています。

令和5年度の処理経費を項目別に見ると、中間処理経費が40%で最も多く、次いで、塵芥収集運搬経費が39%で、最終処分経費が10%の順です。

中間処分経費は、平成26年度以降増加傾向にあり、令和3年度に大幅に増加し、

令和4年度以降は増減を繰り返しています。その主な増加要因は、小平・村山・大和衛生組合の施設整備に伴う負担額の増加です。

塵芥収集運搬経費は、平成28年度から令和3年度まではほぼ横ばいとなっていました。令和4年度に大幅に増加し、その後も増加傾向にあります。その主な要因は、戸別収集に係る費用及び家庭ごみ有料化に伴う指定収集袋の製造・管理等にかかる経費の増加です。

図2-10 廃棄物処理経費の推移

(単位：千円)

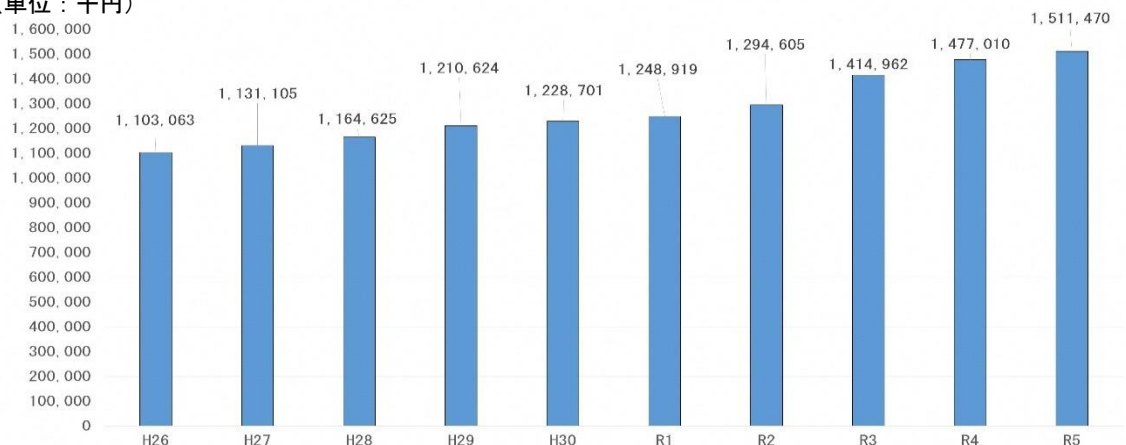


図2-11 項目ごとの廃棄物処理経費の推移

(単位：千円)

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
塵芥収集運搬経費※1	369,915	369,894	378,686	400,285	403,646	413,735	419,371	419,194	547,884	589,595 (39%)
リサイクル事業経費※2	127,376	128,148	129,369	129,975	129,888	129,232	130,425	127,662	105,015	81,320 (5%)
中間処理経費※3	318,132	338,435	352,130	382,196	402,073	421,247	478,523	613,651	571,679	603,477 (40%)
最終処分経費※4	215,341	209,032	208,132	208,069	204,388	204,951	187,196	173,054	156,362	158,752 (10%)
人件費※5	45,421	56,252	58,239	67,465	66,877	66,567	67,585	69,601	79,099	71,644 (5%)
その他の経費※6	26,878	29,344	38,069	22,634	21,829	13,187	11,505	11,800	16,971	6,682 (1%)
合計	1,103,063	1,131,105	1,164,625	1,210,624	1,228,701	1,248,919	1,294,605	1,414,962	1,477,010	1,511,470 (100%)

※1 塵芥収集運搬経費：ごみ収集経費のうち、一部組合の負担金を除く経費の合計

※2 リサイクル事業経費：リサイクルセンター経費

※3 中間処理経費：小平・村山・大和衛生組合負担金

※4 最終処分経費：東京たま広域資源循環組合負担金

※5 人件費：製造事業に係る職員の給料などの経費

※6 その他の経費：上記以外の経費

(単位：円)

